

福島トヨペット株式会社と株式会社社会津ラボ 自動運転開発プラットフォーム RoboCar® MiniVan を 自動運転の実用化に向けた実証実験へ活用

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)が販売する自動運転開発プラットフォーム RoboCar® MiniVan が、福島トヨペット株式会社(本社:福島県郡山市、代表取締役社長:佐藤修朗、以下福島トヨペット)と株式会社社会津ラボ(本社:福島県会津若松市、代表取締役社長:松永 州央、以下会津ラボ)が協業し実施する、福島県浪江町における自動運転の実用化に向けた実証実験に活用されております。

この度、弊社ウェブサイトにて事例紹介を公開いたしましたので、お知らせいたします。

【RoboCar MiniVan 活用事例紹介】 福島トヨペット株式会社、株式会社社会津ラボ様

http://www.zmp.co.jp/case/minivan_190131



実証実験で活用された RoboCar® MiniVan と 実証試験開始セレモニーの様子

本取り組みは、福島県の「平成 30 年度地域復興実用化開発等促進事業」における「自動運転に係る情報基盤の構築及びまちなか巡回車両の実用化に向けた実証実験」として行われ、2018 年 12 月 3 日に公道での実証試験を開始しました。

本実証実験は、平成 31 年度までに自動運転車両を用いた公共交通サービスの実現と関連する情報基盤の構築を目的としており、具体的には、浪江町駅周辺において、自動運転による巡回交通サービスを実現するため、当該自動運転車両で使用される各種センサ類のデータや 3 次元マップ等を地域情報基盤として共通利用できるシステム開発を実施しています。

走行ルートは、浪江駅から浪江町役場を結ぶ約 1 km において、公道での自動走行を行っています。

本年度は浪江町役場と浪江駅を結ぶ直線道路において実証実験を実施し、今後は警察及び浪江町、その他関係機関と調整の上、実証実験範囲を拡大していく予定です。

会津ラボでは、これからも、学術機関や国内における自動運転実証の実績のある事業会社の協力により、過疎地域や高齢者向けの公共交通機関として自動運転による移動サービス等のソフトウェア・運行に係るノウハウを取得することにより新規事業の創出を目指しています。

なお、これらの実証実験の自動運転実験車両として、ZMP の開発した自動運転開発プラットフォーム RoboCar® MiniVan が活用されており、センサーとして Velodyne 社製 3D-LiDAR や単眼カメラを搭載し、高精度 3 次元地図および自動運転のオープンソースソフトウェアである「Autoware」を用いて自動運転を行っています。



ZMP では 2015 年より自動運転開発プラットフォームとしてミニバン型ハイブリッド車ベースの RoboCar MiniVan を提供しておりますが、Autoware を搭載した「RoboCar® MiniVan Autoware パッケージ」も併せて提供しております。さらに SUV タイプの RoboCar® SUV や開発中のバスタイプの RoboCar® Mini EV Bus、また ZMP 独自の自動運転コンピュータ IZAC (アイザック) など提供しており、これまで多くの研究機関様や自動運転の研究開発を推進する企業様に導入いただき、自動運転の実証実験などのご支援をして参りました。

今後も、当社は自動運転開発プラットフォームの提供や実証実験の支援を通じて、自動運転技術の向上へ貢献して参ります。

【ZMP RoboCar® Minivan について】 <http://www.zmp.co.jp/products/robo-car-minivan>

RoboCar® MiniVan の特長

- ・ CAN 情報取得が可能
(速度、ステアリング、アクセル、ブレーキ、シフトポジションなど)
- ・ オプションでステレオカメラやレーザレンジセンサ等の外界センサ、大容量バッテリーシステム、などを搭載
- ・ ステアリング、アクセル、ブレーキを制御可能
- ・ ZMP 独自コントローラによりユーザプログラムを実行可能
- ・ 自動制御モードとマニュアルモードの切り替え可能



【Autoware の基本機能】

- ・ 3次元自己位置推定
- ・ 自動停止
- ・ 経路生成
- ・ 3次元地図生成
- ・ 車両・歩行者認識
- ・ 経路追従(0~60km/h)

【価格】

RoboCar® MiniVan 1,800 万円(税別)

RoboCar® Minivan Autoware パッケージ 2,380 万円(税別)~

<構成>

ZMP RoboCar® Minivan、3次元 LIDAR、単眼カメラ(前方)、大容量車載バッテリーシステム、制御用 PC、Autoware 導入設定サービス(テストコースでの走行テスト含む)

※センサー構成によって価格は変更となります。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP プラットフォーム事業部 TEL: 03-5802-6901/FAX: 03-5802-6908 Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®, ③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020 年の自動タクシー®の実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017 年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Deli の実証実験を開始いたしました。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。